



あまぬまだより

<http://www.suginami-school.ed.jp/amanumashou/> 杉並区立天沼小学校



学びに夢を

教務主幹 山内江美

「『留学したくない』と考えている日本の高校生が5割強で、調査対象となっていた米国、中国、韓国を含めて、留学への関心が最も低かった一。」こんな実状が、(財)日本青少年教育研究所の調査で分かりました。国内は景気の悪い話であふれていますが、新興国は元気がよく、日本でも留学生や外国人学生が国内企業にどんどん採用されています。日本人学生も「内向き志向」なんて言われていません。これからの日本を引っ張る人にはどういった力が求められ、そのための教育や人材育成はどうあればよいのでしょうか。

日本が今後、成長と発展を遂げるには、世界を舞台にリーダーシップを発揮して活躍できる「グローバル（地球規模）人材」と、既成概念にとらわれないアイデアやモデルで新たな価値や世界を創出する「イノベーション（技術革新）人材」が必要だといわれます。グローバル人材にはタフであることが不可欠ですし、日本人としてのアイデンティティーをもちながらも、世界中から集まった異質な集団の中で、自分の考えを適切に主張しながら協力し合うことが求められます。そのための高い語学力やコミュニケーション能力、主体的な思考力やリーダーシップが必要なことは言うまでもありません。

また、イノベーション人材には、自然・人文・社会科学の垣根を越えて社会の諸問題をいち早く探知することや、独創力・発想力・課題発見力も求められています。

なんだか難しい話になってしまいましたが、主体的に考える力や問題解決力の育成などは、まさに新しい学習指導要領が目指すものです。今日、目の前の子どもたちは、小・中・高等学校で培う確かな基礎があって初めて、世界に羽ばたくリーダーとなれるのでしょう。

ところで、先日、ベネッセの行った教育調査の中に、興味深いものがありました。子どもの学習時間と母親との関わりについて調べたものです。小1から中3になるにつれ、母親が子どもの宿題を手伝う

時間が55%から12%へ右肩下がりに減少しますが、「勉強なさい」と声をかける割合は、ほぼ横ばいで80%前後をキープしています。ところが、「勉強なさい」の声かけの有無にかかわらず、子どもの学習時間の平均は、学年が上がるにつれ増加はするものの、どの学年も5分程度しか差が生じていないという結果になりました。

つまり、「勉強なさい」という声かけの効果は意外と薄いということです。一方で、「子どもと将来や進路について話をする」といった関わりの有無と学習時間の平均の関係を見てみると、母親と将来や進路について話をしている子どものほうが学習時間が長くなっており、これはどの学年も共通していました。それを裏付けるかのように、「将来の目標イメージが明確な子どもは、自律的に勉強している」というデータもあります。

自分の将来の目標イメージを描く手助けとして「子どもと将来や進路について話をする」ことは、どの学年の子どもにとっても学習意欲を高めるために大切な働きかけであり、低学年からでも必要なことなのでしょう。

これらはデータから見る一側面かもしれませんが、このような子どもの傾向に対して、これまで以上に重要になってくるのが、家庭の役割です。子どもが自主的に学習できるようにするためには、まず学習習慣が身につくまでの初歩的段階ではていねいにサポートする必要があります。ある程度自分で学習する習慣が身についてきたら、直接的なサポートではなく、子どもの関心や能力に応じて情報提供したり、体験する場やコミュニケーションの機会を作ったりするなど、間接的なサポートに切り替えていくのがよいそうです。そうすることで、主体的な学習につながり、自分でものごとを考えられる子どもに育つようになると思われます。さらに、子どもが具体的な将来像をイメージできるような声かけや、親子の会話もあとよりよいですね。

学校・家庭・地域が一丸となって、「学びに夢を」と与えていきましょう。

..... 今月の目標

生活

進んで仕事にはげみましょう

保健

目を大切にしましょう

給食

食後の過ごし方を工夫しましょう

10月6日(土)



天沼小学校 運動会



子どもたちは本番に向けて日々練習にはげんでいます。こだま学級も通常学級の友達と一緒にがんばります。420名の元気な姿をぜひご覧ください。

1年

【はしれ! いっぼんみち】

直線40m、ゴール目指して力いっぱい走ります。ご声援よろしくお願いします。

【ぼん☆ボン☆PON!】

色鮮やかなボンポンを持って踊ります。跳ぶ、はねる、止めるなどのめりはりのある動きを工夫して取り入れました。チームでのそろった動きを85名全員で表現します。踊りの最後に1年生の“愛”を届けます。

【ダンシング玉入れ】

ダンスを踊りながら、曲の変わり目で玉入れを競います。赤組も白組も力を合わせてがんばります。

2年

【カーブ de ショーブ】

2年生になってはじめて曲走路に挑戦します。カーブを上手に走りぬけられるかどうかが見どころです。

【ひっくりかえして、さあたいへん!!】

校庭に散らばっている赤白のオセロ。時間内にどれだけ自分のチームカラーにひっくり返すことができるかを競います。ご声援をお願いします。

【すずめおどり～仙台民舞～】

すずめおどりは、江戸時代から仙台に伝わっていたものが現代的にアレンジされ、市民に広まったものです。“それぞれ”というかけ声に合わせて、扇を羽に見立てておどります。足でリズムをとる姿にをご覧ください。

3年

【風になれ】

スタートダッシュ、カーブ、最後の直線、どこも力が抜けない80m。一人一人が全力で走り抜きます。

【G・G・G】

2人ペアでGボールを落とさないように運んで集めます。勝負の決め手は、スピード、バランス、チームワーク、そして判断力。制限時間内に、規定数のボールを集めたチームの勝ちです。

【ちゃれんG Dream】

緑鮮やかな芝生の上を、赤と青の大きなGボールで跳ねて舞います。音楽にあわせて、1人技、2人技、集団技と、心をついに演技します。躍動感あふれる子どもたちの動きにぜひご注目ください。

4年

【風になれ】

スタートダッシュの後のカーブが勝負です。風になって、80m先のゴールをかけぬけます。

【竹取物語】

スタートの合図で棒をめぐらして、猛ダッシュ!1本でも多く自分の陣地に引っ張ってきた組の勝ちです。赤も白も知恵を絞って作戦を考えました。はたして作戦通りにいくのは今年どちらでしょう。

【爽海舞団～あまめまソーラン～】

4年生がソーランを踊り始めて3年目。今年はおそろいの天沼法被を着て、緑鮮やかな天沼の海に船をこぎだします。練習を重ねた器械運動も取り入れて、「しなやか」「力強く」を目指して表現します。

5・6年

【疾風迅雷】

高学年の短距離走の見どころは、第2カーブ後の直線での加速とゴール直前までのラストスパートです。最後の最後まで決着がわからないレースも多くあります。5・6年生の魂の走りにご期待ください。

【天沼大合戦～宿命～】

赤と白の大將を決め、相手に勝つための騎馬の組み方や攻め方など、自分たちで進んで作戦会議を話し合いました。勝負は3回戦。1回戦は団体戦、2回戦は女子大將戦、3回戦は男子大將戦です。5・6年生の結束力をとくにご覧ください。

【組体操&和太鼓 ～天沼伝 2012～】

今年の組体操のテーマは「力」。個人技や2人技、グループ技が次から次へと力強かつ俊敏に繰り広げられていきます。学級や学年、そして全員での大技にもご期待ください。

組体操の前には伝統の和太鼓演奏を披露します。リズムだけでなく、姿勢や表情、声にもご注目ください。一人一人の思いを込めた一打一打が、心に響きます。

【係活動】

演技や競技といった種目だけが活動の場ではありません。運動会全体を支えている5・6年生の係児童の働きにも、ぜひ応援をお願いします。

五周年記念種目

【天中 VS 天小リレー】

天沼小五周年を記念して、天沼中対天沼小のリレー対決を行います。天沼小学校からは5・6年生、天沼中からは1年生の選抜メンバーが、学校のプライドをかけて走り抜きます。どうぞ応援ください。

地域種目

【言うこと一緒、やること反対】

PTA、来賓、卒業生、地域の皆さんが参加する種目です。子どもたちが授業で行っている運動を紹介します。ゲーム感覚で楽しく体と心をほぐすことができる運動ですので、奮ってご参加ください。

学力向上プロジェクト ～杉並区「特定の課題に対する調査及び学力調査」の結果と考察～

《国語及び算数の平均の正答率 (%)》

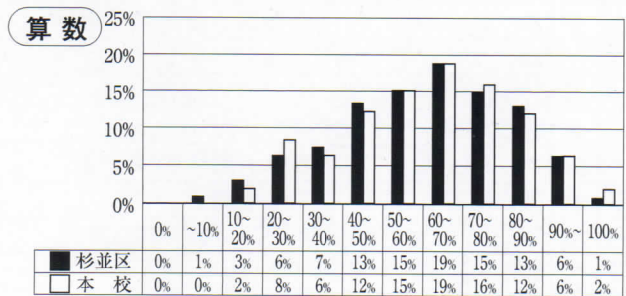
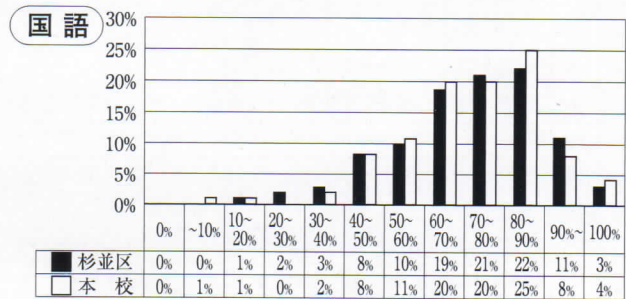
平均正答率		杉並区	本校
国語	教科全体	70.3	71.1
	基礎	71.7	72.3
	応用	57.7	61.0
	話す・聞く	70.1	73.6
	書く	54.3	58.3
	読む	64.7	64.8
	言語	80.5	80.3
算数	教科全体	58.5	59.8
	基礎	68.0	69.9
	応用	45.1	45.3
	数学的思考方	45.2	44.5
	技能	65.6	67.7
知識・理解	57.9	58.4	

《読書習慣》

	杉並区	本校
1ヶ月に読む本の平均(冊)	10.2	10.9

《正答率分布状況》

杉並区 ■ 本校 □



国語・算数ともに区の平均をやや上回っていますが、昨年度同様、国語では「言語」、算数では「数学的思考方」が区の平均をやや下回った結果になっています。しかし、区平均との差は、昨年度の差に比べて「言語」で3.5ポイント、「数学的思考方」で1.7ポイント縮まっています。このことから、昨年度講じた手立てが有効であったことが考えられます。

国語に関しては、1ヶ月の平均読書冊数が「10.9冊」と昨年度の9.5冊を上回る結果となりました。引き続き、読書を通じて語彙を増やしたり考え方を広げたりする手立てや、漢字の繰り返し練習及び辞書引きの習慣を軸とした言語活動を豊かにする手立てに力を入れることが必要と考えます。

算数に関しては、「数学的思考方」の向上が、基礎となる知識・技能の上に成り立つものであるため、基本の計算練習や用語及び単位量の習得が必須です。そのうえで、考え方の道筋や方法を自分の力で表現し、互いの考えを理解し合う場を取り入れた授業の展開を工夫していきます。

昨年度より実施を始めた「ハッピースタディ」や以前からあった「フォローアップ」「天沼夏季講座」など、授業時間以外での学習の場を設けることで力を伸ばしてきた児童もいます。しかし、何れにしても、短期集中型で、即、効果が得られるものではありません。日々の継続した取り組みこそ必要です。

そのために、毎日の家庭学習(宿題)に取り組ませるとともに、自主学習の習慣をつける計画・実践を進めているところです。またご家庭では、学習環境を整えること(集中して取り組める場を一時的にでも作る、宿題をやったかやっていないかをチェックする、手に取りやすいところに辞書を置いておくなど)に、ご協力いただければと思います。ご家庭の、地域の皆様の協力をいただきながら、児童の学力向上に努めていければと考えます。ご理解のうえご協力よろしくお願い致します。

校内研究 体づくり心食体 No.4

全国学校体育研究大会東京大会プレ大会
東京都小学校体育研究会体づくり運動領域部会 実証授業が開催されます。

本校では、本年度、都の小学校体育研究会と連携して、「運動の楽しさを味わい、意欲的に実践する力を身につける体育学習」をテーマにした研究を進めています。来年の全国大会分科会発表を目指して下記のようにプレ発表会を実施します。全都の小中学校の教員が主たる対象ですが、保護者や地域の皆様のご参観も大歓迎です。奮ってご参加ください。

記

- 1 日時・場所 10月22日(月) 本校アリーナ
- 2 内容・時程 5校時 (13:30 ~ 14:15) 2年体育「多様な動きを作る運動遊び」
6校時 (14:25 ~ 15:10) 4年体育「多様な動きをつくる運動」
(15:20 ~ 16:00) 研究発表・協議会
(16:00 ~ 16:45) 講評 講師：山梨大学 教育人間科学部
教授 中村和彦先生



10月の行事予定

日	曜	行事予定
1	月	都民の日
2	火	全校練習Ⅲ 運動会係活動②(5・6)
3	水	水曜特別時程
4	木	避難訓練 安全指導
5	金	運動会特別時間割(リハーサル) 前日準備
6	土	運動会
7	日	運動会予備日
8	月	体育の日
9	火	運動会振替休日
10	水	特別支援連合運動会(こ) フォローアップ
11	木	天沼FP 歯科検診(全)
12	金	かけあし(高) 特別支援連合運動会予備日
13	土	
14	日	
15	月	全校朝会 委員会活動(5・6)
16	火	かけあし(低) お話会(1) たてわり遊び
17	水	読み聞かせ(高) たてわり遊び
18	木	天沼FP 生活科見学(2) 理科教室(5)
19	金	かけあし(高) 茶道体験(3)
20	土	
21	日	
22	月	全校朝会 読書週間始 4時間授業(1・2・3・5・6・こ) 5時間授業(4)
23	火	お話会(3)
24	水	読み聞かせ(低) 5時間授業(全)
25	木	
26	金	江戸しぐさ教室(3) お話会(2)
27	土	
28	日	
29	月	健康朝会 クラブ活動(4・5・6)
30	火	お話会(4)
31	水	命の教育月間(終) 生活科見学(1) 連合運動会(6)

10月22日は
体育の研究発表を
行います。

学校運営協議会だより

天沼エリアが目指す子育て

8月27日(月)に教育懇談会「サマワークショップ 2012」を実施しました。教職員、PTA役員・委員、地域の方々、学校支援本部・運営協議会メンバー約40名が参加しました。4～5名グループになり一つのテーブルを囲んで、「天沼エリアが目指す子育て～どんな天沼にしていきたいか～」ということを話し合いました。

「家庭では生活習慣をきちんと身につける」「多くの大人が関わり地域全体で子育てをする」、「子どもたちには自信や自己有用感を持たせられるようにしたい」「そのために自らができることをしていこう」等、それぞれの立場から有意義な意見が出されました。

今回の懇談会を踏まえて、これからも子どもたちのために何ができるかを、地域ぐるみで考え、できることから実践していける学校運営協議会でありたいと考えます。



コミュニケーションは
あいさつから
始まる

地域に
顔見知りの人を
増やそう

子どもは、
地域の目で
育てよう



学校支援本部コーナー

天沼小学校支援本部(あまぬまワンダラーズ)の活動を紹介します

◆授業コーディネイトプロジェクト

専門的な知識や技術を教えてくださいを学校に紹介しています。

たとえば・・・

運動会にむけて和太鼓の先生が応援に来てくださいます。また、2年生の校外学習「秋みつけ」ではネイチャーゲームの先生、3年生の伝統・文化理解教育では茶道や「江戸しぐさ」の先生をお呼びしています。4年生では視覚障害の方と交流し、企業の方と一緒にユニバーサルデザインの学習をします。この他にも、年間を通して授業のコーディネイトやサポートをしています。

◆土曜日学校ハッピーさたでい



ハピさたハロウィン

10月13日(土)ハロウィン衣装づくり 10月27日(土)ハロウィンパーティー
仮装をしてグループごとに地域歩きをします。子どもたちが訪ねてまわるお菓子の家は、保護者や地域の方に協力していただきます。学校にはモンスターハウスも登場しますのでお楽しみに!

詳しくはハピさた「10月のお知らせ」をご覧ください。



Take

夏も名残 懐かしいに
咲く...